



ワールドワイン
(東京都新宿区)
渡邊俊二代表取締役COO

ワールドワイン

トを失った面々の受け皿 動産販売を行ってきました。今年の春からは都内にならでいるという。

た」(渡邊COO)

収益不動産の開発も開始した。

「スタッフは元上場企業の部長クラスなどの実力者ばかりです。社員間でも全員がさん付けで呼びます。私もみんなで投資用不動産販売会社のワールドワイン(東京都新宿区)は、設立2年目で取扱額20億円を超える成長企業だ。同社を支える渡邊俊二代表取締役

COOに話を聞いた。

「当社を支えるのは、未公開物件の情報の多さで豊富な経験を持つスタッフが任意売却物件など市場に出回る前の優良な物件を上げてくるので、お客様に信頼されています」と語る通り、同社の営業スタッフがさまざまな経歴をもつ。リーマン・ショック以降の不況でボス

渡邊社長自身も変わった経歴の持ち主だ。大学卒業後は大手建材卸のあへ興業に入社。建築会社向

けに建材の販売を行っていた。建築現場などで出くわす不動産販売会社の営業マ

ンに興味を持った。

1000万円を超えるような家を販売する

販売会社に入社。全国を渡り歩きながら、収益不動産を販売して回った。

「行ってないのは、島根県と鳥取県くらい。後の都道府県は全て回って不

建材営業から不動産販売へ

0回以上訪れていま

す」(渡邊COO)

その後、財閥系の不動産販売会社に転職。

ワールドワインを率いるもう一人の司令塔・平澤聰CEOと出会ったのもこの時だ。同じエリアの競合店の店長

關係ができた。

別の会社を経て、20年から共同代表者と

してワールドワインの個

性豊かな面々をまとめ、同社の顧客の多くは别墅として複数棟を同社で購入する。

収益不動産の新築企画を開始

いて販売戦略の構築から実際の販売まで獅子奮迅の活躍を見せた。投資熱が盛んな北海道のサラリーマン投資家に最初に目

をつけたのもこの人だ。もともと家族に大工職人がありなど建物自体に

興味があったという。設計士と綿密に打ち合わせを行い、自らの意見も積極的に反映しているとい

う。建材商マンとして

培った知識も総動員して、物件をつくり販売し

ていく。夢が一つかなつたということだろう。